



アミール・ツアルファティ

[2024年1月20日 ニュース速報]

<https://youtu.be/7D29pxp2bmY>



皆さんこんにちは、アミール・ツアルファティです。ガリラヤの自宅からライブです。ここはもうすぐ暗くなるので、反対側をお見せできるかみてみましょう。さあ、どうぞ。見えますか？平野、ここはハルマゲドン溪谷です。すぐそこ。では…過去 24 時間に起こった、非常に重要な出来事について、最新情報

をお伝えしたいと思います。ではまず、これから参加される皆様に、ご挨拶しましょう。そして、どこでご覧になっているかみてみましょう。ルイジアナ、他にはどこがありますか？コメント欄で教えてください。今、Facebook でライブをしています。YouTube の人はごめんなさい。少し遅れてアップロードします。ニューメキシコ州、ニュージャージー州から、コロラドから、インディアナ州の人、ミシガンの人もあります。他にどこがありますか？バージニア州、ウェストバージニア州、フロリダから、アーカンソー、他には？マレーシア！おお。こんにちは。ジョージア、素晴らしい。それでは皆さん…過去数時間に起こった、非常に重要な出来事に関するアップデートです。そして…テレグラムで私をフォローしている人なら…これ以上強調することはできません。他のプラットフォームはすべて、私を検閲しています。皆さんが知っているかどうかは分かりませんが、ソーシャルメディアで皆さんに伝えたところです。ウィキペディアのプラットフォームから、私が外されたことを発表しました。10月7日以来、人々は私のビデオを見て、いかにして私の口を封じようかと、策略していました。つまり、彼らはテレグラムに触れることができないので、最も簡単な方法、つまりウィキペディアに苦情を申し立てたのです。私のページには偏りがあるとか、そのようなことを。それはばかげています。あそこには何もありませんから。実際、私はウィキペディアから承認を受けました。しかし、彼らは色々と思いつき、そしてご存知のとおり、私を黙らせようとする者の方がその反対側よりも多いのです。だから、結局、私はウィキペディアから削除されました。といっても、私はあまり気にしません。繰り返しますが、あれは単なるページであって、私はほとんど触ってなかったのです。しかし…そして、しかし、これは始まりで、炭鉱のカナリアです。

でも、それはさておき、聞いてください。私が皆さんに知っておいてほしいのはこれです。昨日…昨日のことから始めて、それから、今日の出来事をお伝えします。昨日、二度、ヒズボラが無人航空機を送り、それらは見事、迎撃されました。しかし、おそらく、皆さんが知らないのは、彼らはゲームチェンジャーとなる、戦略的で機密性の高い場所を狙っていて、もしそれらが破壊されていたら…言い方を変えましょう。私は昨日、テレグラムに書きましたが、今、ここでお伝えします。もし昨日のヒズボラの任務が成功していたら、ベイルートは、今日、ここに立っていないだろう。それほど酷かったのです。しかし、そこから早送りして、今日は、イスラエルが、ダマスカスでイラン革命防衛隊の隊員約10人を、上空から排除しました。ダマスカスで最も保護された地区エル・メッセ、市の中にある村です。高級官僚が全員住んでいる場所で、そこにあるすべてのセキュリティレベルやフィルター、すべてを貫通するのは非常に困難です。しかし私たちは、シリア国内の、イラン革命防衛隊の諜報指導者、諜報機関がいた建物を破壊することに成功しました。つまり彼は、シリアの地にいたイランの将軍で、イランに代わってすべてを調整していました。その男が殺害され、その副官も殺害されて、側近が全員死亡しました。今のところ10人、10体です。そしてその数分後、私たちは、レバノンのティルス市の北で、他の者たちを排除しました。そこで私たちは実際、レバノン国内のイランとハマスの間の、イランまたはヒズボラの連絡員を殺害しました。つまり、これは、昨日起こりそうになった事に対する、報復行為です。

数日前、国外居住のハマスのリーダーがインタビューを受けました。彼の名前はハーリド・マシャアル。彼は、二国家解決策について尋ねられて、そして、彼は何と言ったか知っていますか？彼は、こう言いました。「我々は、生き残るための手段として、二国家解決策を受け入れなければならないかもしれない。しかし…」そして、彼が言ったことを見てください。「…我々ハマスは、二国家解決を支持しない。我々の信念は、すべて…」これ、彼の言ったことを見てください。「…すべて…」私は今、彼の言葉を引用しています。「…ラス・アル・ナクーラからウナム・アル・ラシュラシュまで、全て我々のものだ。」さて、私が今言ったことをご存じない方のために、ラス・アル・ナクーラはアラビア語で、ヘブライ語ではロシュ・ハニクラ、ここは、地中海に面したレバノンとイスラエルの国境です。そしてウナム・アル・ラシュラシュは、紅海沿いのエイラートです。基本的に彼が言ってい

るのは、「ある者は、東から西を意味する『川から海へ』と言うが、私は『ラス・アル・ナクーラからウンム・アル・ラシュラシュまで』と言おう。つまり北から南まで、この場所全体が、我々のものだ。」彼らはそれを隠しません。彼らはそう言います。人々は、それを聞こうとしません。過去 20 年間、彼らはそれを言い続けてきて、誰もそれを聞こうとしませんでした。そして 10 月 7 日がやって来て、彼らは彼らが本気で言ってきたことを証明しました。そして、信じられないかもしれませんが、ブリンケン国務長官は、基本的に、二国解決策、パレスチナ国家解決に取り組み続けていて、彼は、サウジアラビアに対し、イスラエルとの関係を正常化したいなら、それを要求する必要があると語っています。そして信じてください、サウジアラビア人が最も避けたいのは、パレスチナ人の世話をすることです。誰も、誰ひとりとして、彼らの世話をしたくないのです。エジプトは、パレスチナ人が入ってこないように、以前よりもはるかに高い壁を築きました。ヨルダンも、パレスチナ人が渡れないように、ヨルダン川沿いに軍隊を配備しています。アラブ諸国は、どこもパレスチナ人を受け入れておらず、彼らのことなどなんとも思っていない。つまり、アメリカの民主党の進歩的リベラル派が、イスラエルも、ハマスをさえも、誰も望まない解決策を求め続けているのです。

ですから、とても興味深いです。しかし、繰り返しますが、皆さん、理解してください。非常に重要です。イスラエルは、周囲で、イランの影響のある人物を排除する戦略を強化しました。それから、今日、私たちがダマスカス郊外で殺害したこの男も、アメリカに多くの頭痛の種をもたらした人物で、彼はシリアの米軍基地に対するすべての攻撃を調整しました。なので…ある意味、戦場に関しては、イスラエルはアメリカを助けて、アメリカはイスラエルを助けています。

しかし、非常に明確にしなければなりません。イスラエル人の中では、パレスチナ国家に対する支持はゼロ、そしてパレスチナ人の間でも、それに対する支持はゼロです。ほら、パレスチナ人は、非常に親ハマスであり、そして、ハマスは「我々は二国解決策を支持しない」と言っているのに、なぜ誰も聞かないのですか？そして彼は、はっきりとこう言いました。「我々の望みは、川から海だけではない。我々は、レバノン国境からエジプト国境までを望んでいる。だから、勘違いしてはいけない。我々が望む土地は、今日のイスラエルのすべて、ハイファやテルアビブを含むあらゆるもの、アシュケロンや、アシュドドも含めて、ベエルシェバも含めて、すべてだ。」なぜ、耳を傾けないのか？

ご存知のとおり、イスラエル人は、すでにハマスの言うことに耳を傾け始めています。なぜなら、彼らが以前に練習したことや言ったことはすべて、実際に実行されたからです。ですから、彼らが、国として私たちを排除したいと言うとき、それはガザのことではなく、ヨルダン川西岸のことでもありません。彼らは、イスラエルを完全に消滅させたいと考えているのです。だから…

それから、とても興味深いことに、1947年のイギリスの外務大臣だったと思いますが、彼はすでに次のことを示していました。「中東問題は解決できない。なぜなら、一方はもう一方の隣で平和に暮らすことを願い、もう一方は他方に代わって生きることを願っているのだから。」1947年に彼らが見たものは、今日でも私たちが見ているものです。それから思い出してください。1947年にはヨルダン川西岸やガザはありませんでした。一部の人々が好んで言うように、私たちはパレスチナ人を「支配」したわけではありません。私たちの存在自体が、彼らの問題です。だから私たちは、コーヒーの香りで目を覚まし、彼らか私たちのどちらかであることを理解すべきです。なぜなら、私たちのすぐそばに、私たちを滅ぼそうと躍起になっている人間がいる限り、決してうまくいきません。

ご存知のとおり、私は、ガザでイスラエルが発見したことを、毎日投稿しています。私たちは…言い方を変えましょう。これまでのところ、ガザにあったモスクの3分の2は、実際にはテロリストの隠れ家でした。学校、病院、診療所、遊び場の3分の2が…100倍の量の武器、インフラ、立坑、トンネルを発見しています。私たちが思っていたよりも、100倍も多かったのです。過去20年間、彼らがやってきたことすべて、彼らは何億ドルも注ぎ込んできた、たった一つの目的は、イスラエルを滅ぼすこと。それだけです。他には何もありません。そして彼らは、今でも大多数のパレスチナ人から賞賛され、支持されています。これが、私たちの周りにいるのです。

しかし、それは起こりません。聖書を読んでください。そこに、パレスチナ国家が見えますか？私には見えません。私には、イスラエルが神の約束の地に戻ってくるのが見えます。彼こそが、私たちを連れ戻してくださる方、彼こそが、私たちを支え、私たちを守り、私たちのために戦い、私たちを複数の問題から救ってくださる方です。この戦争は終わっていません。まだ始まってもないのです。そして、これは最後の戦争にはなりません。しかし、神は依然として王座にいます。聖書は依然として真実で、正確、信頼できる唯一のものです。そして私たちは、そこに立つべきです。それ以外はすべて嘘と欺瞞です。

それから、皆さんに言うておきます。少しズームアウトして…今日、私はテレグラムにも投稿しましたが、NATO は各国に対し、第三次世界大戦に備えよと呼びかけています。スウェーデンは国民に「準備をしなさい。ロシアとの戦争が近づいている。」と告げました。パキスタンとイランのような、核保有国間の戦争に近い、と。イラクが、イランから大使を召喚しています。シリアでも。イエメンでは、紅海を通るほぼすべての海上交通が停止しました。エジプトは流血しています。エジプトは、スエズ運河を渡るのに船一隻当たり、40万ドルから70万ドルを請求していて、何も運河を渡っていません。彼らはとても多くのものを失っています。

皆さん、すでにミニ世界大戦です。選挙のせいでアメリカ政府が弱体化し麻痺するにつれ、この問題はますます大きくなるばかりです。ですから、言うておきます。2024年は、これまでで最も困難な年になるでしょう。でも、よく考えてみれば、それは美しいことなのです。美しいです。なぜなら、私たちはいくさ車や馬を誇りません。私たちは私たちの神、主の御名を誇ります。私たちがしなければならないのは、それだけです。ですから、今後数日間で、多くのことが起こるのを聞くでしょう。イスラエルは現在訓練中です。レバノン国境沿いで演習を行っています。なぜなら、私たちはすでにレバノンに、次のような最後通牒を突きつけましたから。「1月末までに、ヒズボラを国境から追い出す何らかの外交的解決策を見つけられなければ、私たちは戦争せざるを得ない。」イスラエル兵は全員準備ができています。召集解除された人々の多くは、すでに、数か月以内に帰るよう召集されています。これは、起こるかどうかの問題ではなく、いつ起こるかの問題です。イスラエル国防大臣が、先ほど発表したところによると、彼は役員たちに、今年の夏は休暇の予定を立てるな、と伝えたそうです。なぜなら、北方での戦争は冬ではなく、通常は夏に起こるからです。ですから、皆さん、聞いてください。まず第一に、これが状況です… (動画終わり)



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>



日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.
